

# 1949 礼賛

## 中華民国の南遷と新生台湾の命運

楊儒賓著／中嶋隆蔵訳／四六判 360頁／本体 2400円＋税

1949年——、大陸では、中華人民共和国が誕生した年である。

1949年——、台湾では、中華民国政府がそっくり遷移してきた年であり、台湾が「全身に傷を負った」年でもある。

著者の楊儒賓は台中生まれの台湾人で、「1949」後の台湾の苦悩を知る世代であるが、本書では、1949年の中華民国政府「南遷」をポジティブにとらえ、それによって台湾に「国家意識」が生まれ、民国の学術——中国の伝統的文化——をまるごと受け継ぎ、60年以上をかけて民主的な新しい台湾を作り出しえたとする。（中国との）統一派からも（台湾独立を主張する）本土派からも議論が湧き出た問題の書。王徳威と陳怡蓁の「後序」を掲載する。

### 目次

#### 自序（楊儒賓）

#### I 1949 論

1949 への礼賛

歴史の災難と文化の伝播

歴史の災難と歴史の機会

1949 と新儒家

中華民国と 1949 以後

ただに苦難の物語だけではない

#### II 1949 と民国の学術

1949 の大分裂と新たな漢華人文知識の再編成

東アジアという視座における台湾の人文科学

まだアンコールを求められてもいないのにアンコールに応える言葉

台湾で中華文化を語る

台湾の創造力と中華文化という夢

中華民国において「民国学術」を考える

儒家の現代性？

#### III 1949 と兩岸の儒学

台湾在住の儒家と台湾に渡来した儒家

兩岸の三つの地域——新中国と新台湾

瀛島百年一任公

二二八の百年祭

辛志平、鄭成功と能久親王

趙老！趙老！

#### IV 1949 と清華大学

なぜ清華なのか？

清華大学と民国ブーム

後人の補充を待つ

清華門の番茉莉

中華を納めて台湾に入れる（王徳威）

黄色の大地と藍色の大洋（陳怡蓁）

訳者あとがき（中嶋隆蔵）

書中所見人物生没年一覽

東方書店 【中国・本の情報館】 <http://www.toho-shoten.co.jp>

東京店舗 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3 ☎ 03-3294-1001 / FAX03-3294-1003 / [shop@toho-shoten.co.jp](mailto:shop@toho-shoten.co.jp)

通信販売 〒175-0082 東京都板橋区高島平 1-10-2 ☎ 03-3937-0300 / FAX03-3937-0955 / [tokyo@toho-shoten.co.jp](mailto:tokyo@toho-shoten.co.jp)

関西支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 2-6-1 ☎ 06-6337-4760 / FAX06-6337-4762 / [kansai@toho-shoten.co.jp](mailto:kansai@toho-shoten.co.jp)